



絆

学校の教育目標

未来を創る生徒の育成
自分の未来を切り拓く力
ふるさとの未来を築く力

別海町立別海中央中学校

校長 相澤 要
平成31年(2019年)4月8日
第1号(1243号)

生徒に生き抜く力を育む信頼される学校

= 不断の改善による教育活動の向上 =

未来を創る生徒の育成

校長 相澤 要

別海の大地を吹き抜ける風が春の香りを運んでくるようになりました。

本日、61名の1年生が入学し、今年度の別海中央中学校は200名でスタートしました。教職員一同、一人一人の生徒の成長に責任を持って取り組みますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

今年度、本校の教育目標を次のように改めました。

未来を創る生徒の育成

自分の未来を切り拓く力
ふるさとの未来を築く力

これからの未来がどうなるかは、予測することが難しいとされています。特に最近は、「第4次産業革命」ともいわれ、進化した人工知能(AI)が様々な判断をする時代がやってきて、社会や生活を大きく変えていくという予想もあります。こうした変化は、私たちの生活に便利さや豊かさをもたらすものになると考えられますが、一方で、「人間が活躍できる職業はなくなるのではないか」「今学校で教えていることは通用しなくなるのではないか」といった不安の声があることも事実です。

しかし、不透明ではあっても未来は必ずやってきます。生徒たちが、それに対応し、よりよく生き抜くためには、社会の変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合い、一人一人が自らの可能性を最大限に発揮しながら、

「幸福な人生」と「よりよい社会」を創り出していく必要があります。

2年後に全面実施となる学習指導要領においても、生徒が自信を持って自分の人生を切り拓き、よりよい社会を創り出していくために必要な能力を、しっかりと育てていくことが学校に求められていることから、上記の教育目標に変更しました。

自分の未来を切り拓くためには、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかを考え、新たな価値を生み出していくことも大切です。

また、生徒が10年後、20年後にどこに住んでいようとも、どんな立場であろうとも、原点になるのが「ふるさと別海を愛する心」です。別海に生まれたことに誇りを持ち、別海の未来の在り方を考えていくことが、様々な社会で活躍するための基盤になるものと考えています。

なお、めざす生徒像は、「自ら学び考える生徒」「自他を大切にする生徒」「健やかな心と体を持つ生徒」「様々な人と協働する生徒」の4つです。



4月1日に、新しい元号が発表されました。「平成」生まれと言われ、「平成」の時代に生きてきた生徒たちが、「令和」という時代にどんな活躍をするのか今からとても楽しみです。その日のために、学校と家庭が同じ考え方で、同じ力を育てていきたいと考えております。重ねてご理解とご支援をお願いいたします。